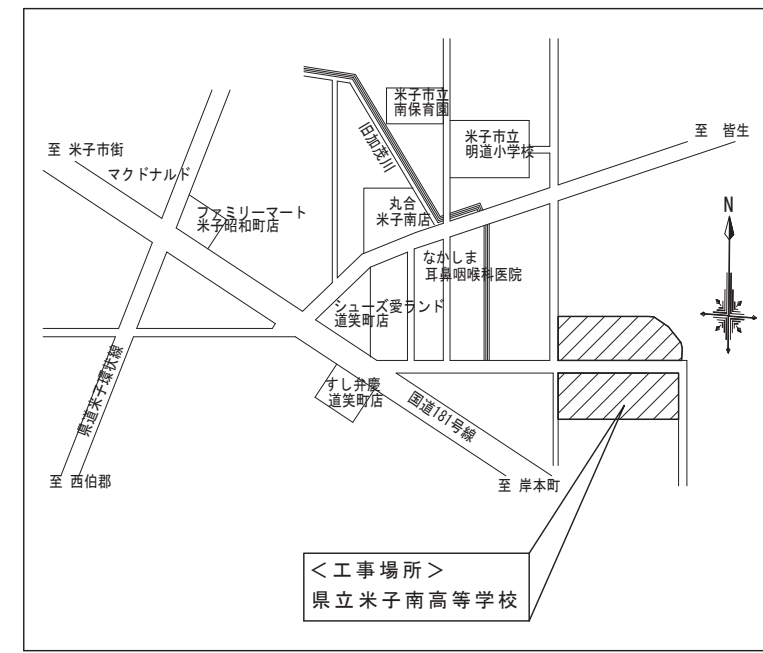
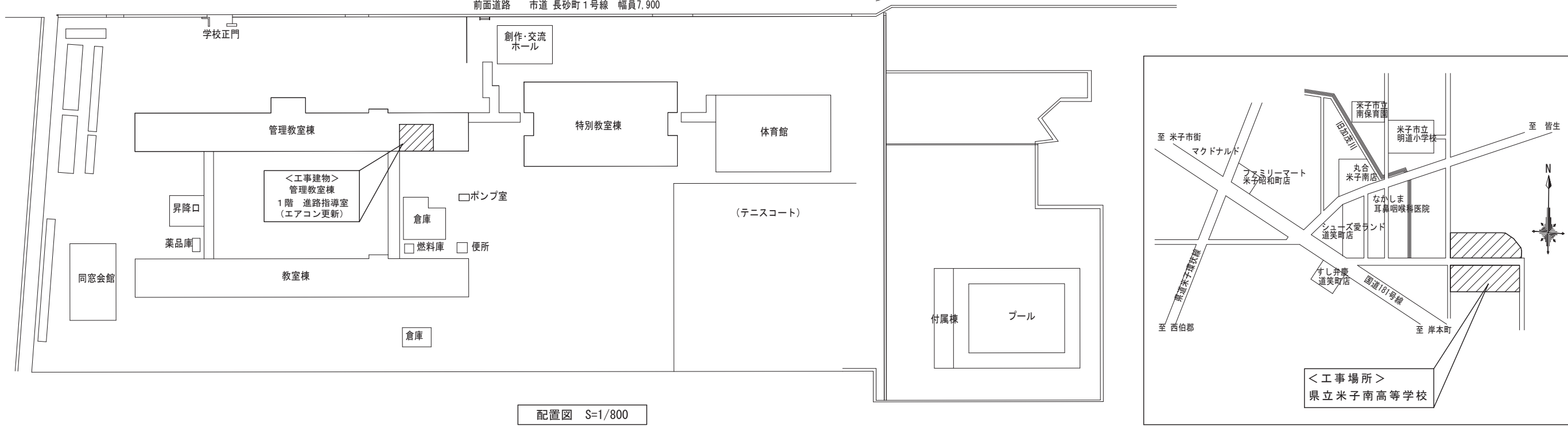
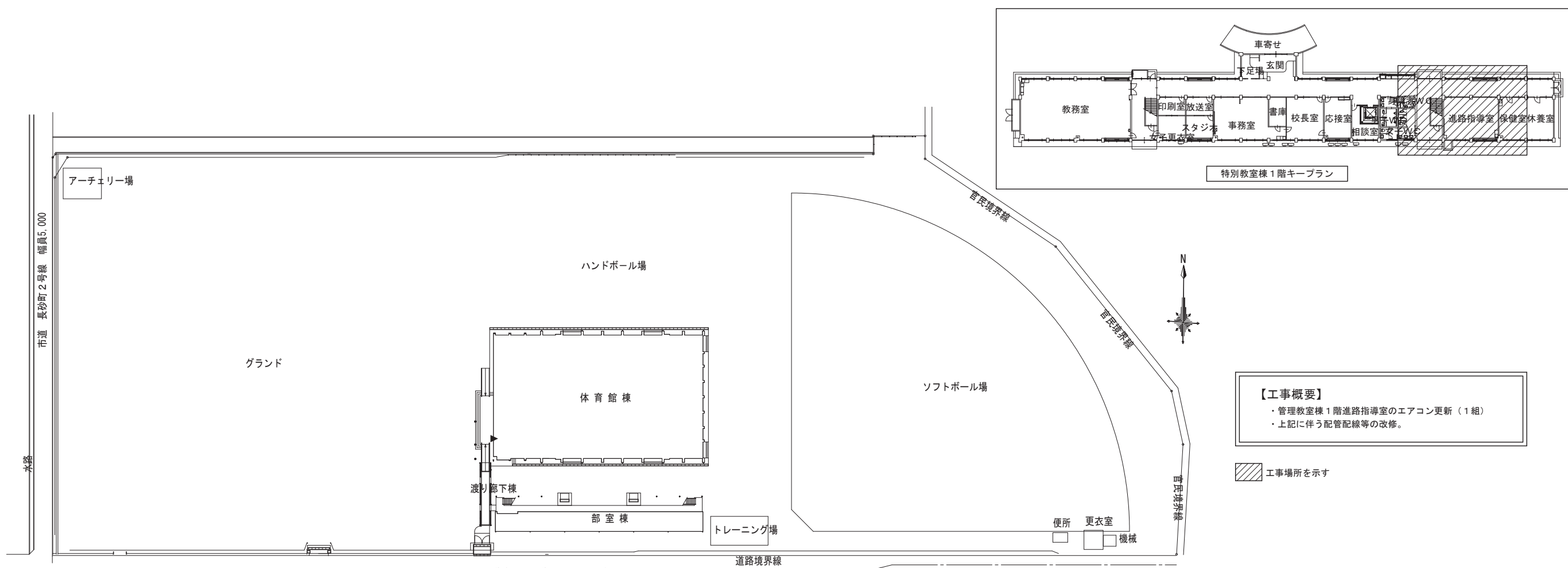


県立米子南高等学校進路指導室エアコン更新工事

図 面 リ ス ト		
図 番	図 面 名 称	縮 尺
M - 00	表紙・図面リスト	NS
M - 01	機械設備工事特記仕様書(1)	NS
M - 02	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M - 03	配置図・付近見取図	1/800
M - 04	冷暖房設備 管理教室棟1階平面図(改修後・改修前)	1/100
E - 01	機器電源設備 1階平面図・開閉器盤単線結線図(改修後・改修前)	1/100





鳥取県
令和7年度
J2500104
西部環境建築局

一級建築士事務所／建築設備設計事務所 X.PLAN Mechanical/Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/800 (A2)	工事名称	県立米子南高等学校進路指導室エアコン更新工事	図面番号 M-03 / 04
		田村	角田	林原	林原	設計年月日	2025. 10	図面名称	配置図・付近見取図	

冷暖房設備機器表 (改修後)

記号	名称	機器仕様	電気容量 (参考)	数量	備考
PAC 6 【新設】	パッケージエアコン	天吊形 112型 (同時ツイン)	3φ×200V	1	設置場所: 進路指導室
		定格冷房能力: 10.0kW (4.3~11.2kW) 定格暖房能力: 11.2kW (4.8~14.0kW)	COMP: 2.1kW		
		ワイヤードリモコン、屋外機用銅製平架台300H (溶融亜鉛メッキ)	FAN内: 0.09kW		
		転倒防止金物×2、その他標準付属品共	FAN外: 0.20kW		

注記

- ※ エアコンの機種選定において高調波抑制対策指針の適用対象外のものを選定すること。(高調波流出電流計算書上の換算係数Ki=1.8以下の機種を選定すること)
- ※ 図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。
- ※ 冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。
- ※ エアコンはグリーン購入法適合品とする。
- ※ パッケージエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。
- ※ インバータータイプの冷房・暖房能力は定格値、() 内が能力変化の参考値を示す。
- ※ 基礎ボルトは採用メーカーの耐震計算書によって仕様を決定し、既設RC犬走りに設置するアンカーについては全箇所引張試験を実施すること。

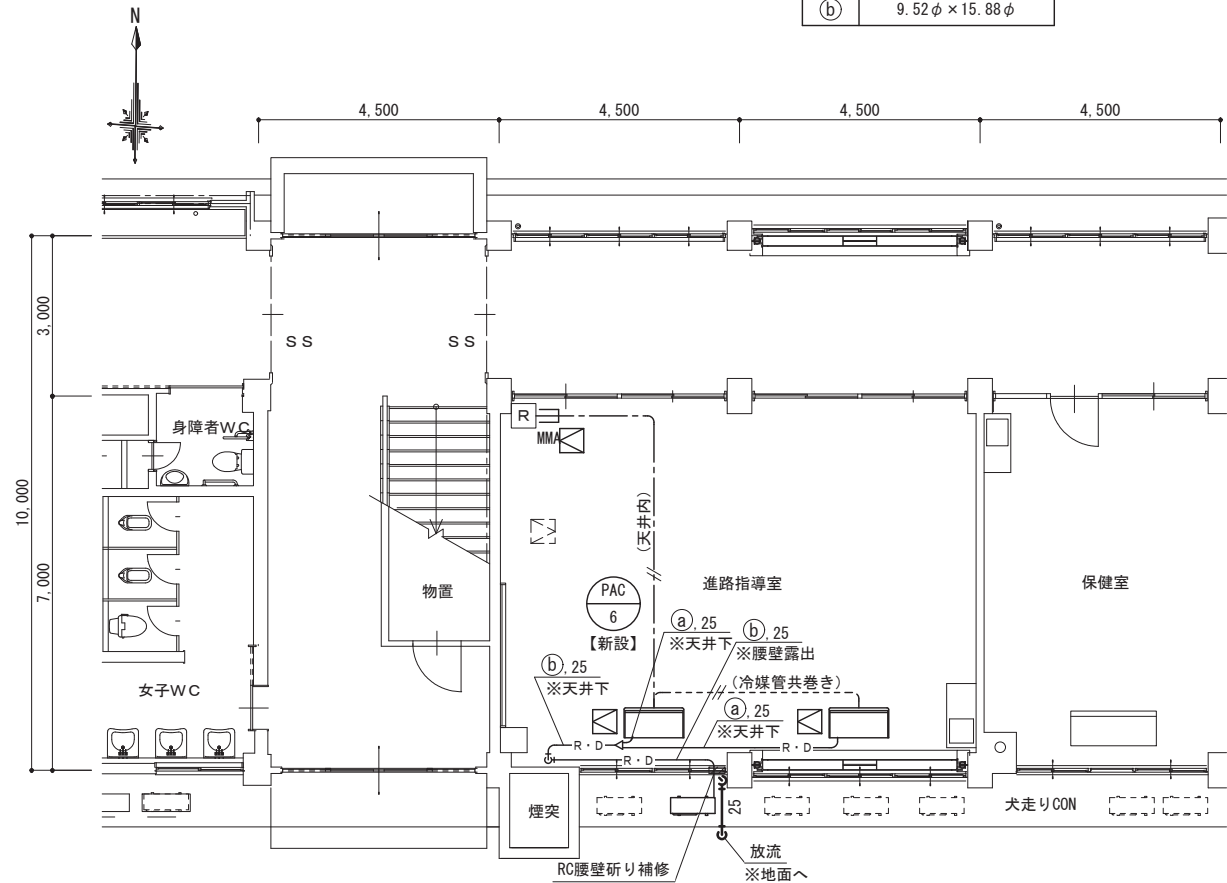
特記

- ※ 図中の太線 ——— は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線 - - - - は既設を示す。
- ※ 図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備を確認のうえ施工すること。
- ※ 冷媒管のサイズは参考とし、採用メーカーにより変更が必要となった場合は施工者負担で対応すること。
- ※ 図中、R はエアコンリモコンを示し、取付は本工事とする。
- ※ リモコン用スイッチボックス (2個用) と立下げ (MMA・同付属品共) は、本工事とする。
- ※ エアコン内外渡り配線はEM-EF2.0-3C (冷媒共巻) とする。
- ※ 一次側電源は電気設備工事とする。
- ※ 図中、□ は既設天井点検口を示し、◻ は新設天井点検口 (450×450) を示す。
- ※ 工事を行う際には現場を十分に調査の上、既存施設の使用を妨げること無き様施工する。
- ※ 作業の際は粉塵等に注意し、十分に養生を行うこと。
- ※ 冷媒配管の外装は樹脂製保温化粧ケースとする。
- ※ 冷媒管と並ぶ露出ドレン管は、原則として冷媒管と共に樹脂製保温化粧ケース内配管とする。
- ※ 屋内の樹脂製保温化粧ケース内ドレン配管は保温チューブ10t巻きとする。

凡例

記号	名称	管種
—R—	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 (銅管: JCDA-0009)
—D—	ドレン管	屋内一般: VP (JIS-K6741) 屋外露出: カラーVP (JIS-K6741)
—//—	リモコン線	EM-MEES0.5sq-2C

記号	冷媒配管サイズ (参考) (液管×ガス管)
Ⓐ	6.35φ×12.70φ
Ⓑ	9.52φ×15.88φ



1階平面図 (改修後) S=1/100

冷暖房設備機器表 (改修前)

記号	名称	機器仕様	電気容量	数量	備考
PAC 6 【撤去】	パッケージエアコン	冷房専用天吊形 112型	3φ×200V	1	設置場所: 進路指導室 ※緑石ブロック×2 (撤去)
		定格冷房能力: 11.2kW	COMP: 3.0kW		
		ワイヤレスリモコン、ドレンアップ、その他標準付属品共	FAN内: 0.08kW		
		冷媒封入量: 4.7kg (R22) 製品重量: 43kg (室内機)、100kg (室外機)	FAN外: 0.05kW×2		

注記

- ※ 撤去するエアコンの既設冷媒は適正に処理すること。

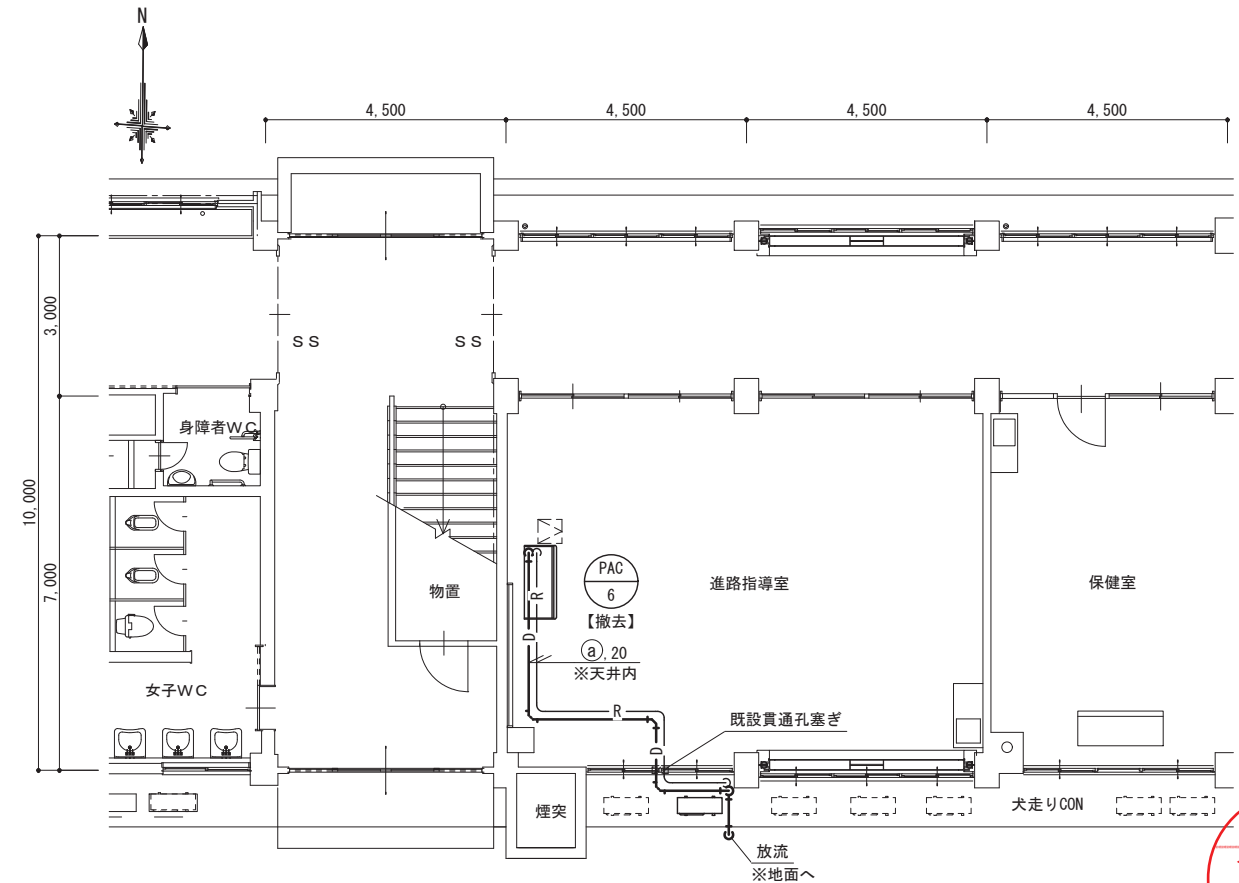
特記

- ※ 図中の太線 ——— は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線 - - - - は既設を示す。
- ※ 既設エアコン内外渡り配線は本工事に撤去する。
- ※ 機器電源の配線は電気設備工事とする。
- ※ 図中、□ は既設天井点検口を示す。
- ※ 工事を行う際には現場を十分に調査の上、既存施設の使用を妨げること無き様施工する。
- ※ 作業の際は粉塵等に注意し、十分に養生を行うこと。

凡例

記号	名称	管種
—R—	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 (銅管: JCDA-0009)
—D—	ドレン管	屋内一般: VP (JIS-K6741) 屋外露出: カラーVP (JIS-K6741)

記号	冷媒配管サイズ (参考) (液管×ガス管)
Ⓐ	9.52φ×19.05φ



1階平面図 (改修前) S=1/100



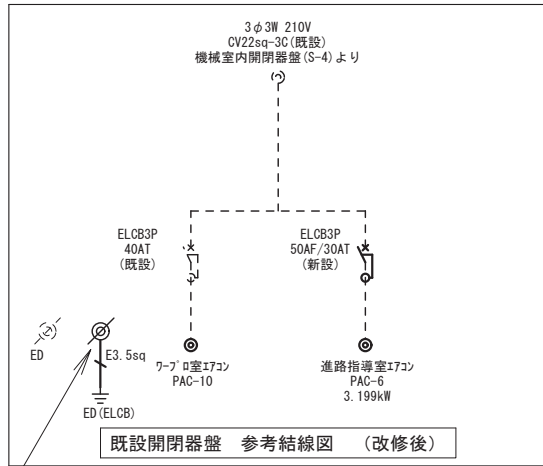
一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical/Electrical Engineers
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認 管理技術者 担当 作図
 田村 角田 林原 林原

縮尺 1/100 (A2)
 設計年月日 2025. 10

工事名称 県立米子南高等学校進路指導室エアコン更新工事
 図面名称 冷暖房設備 管理教室棟 1階平面図 (改修後・改修前)

図面番号 M-04 / 04



※接地端子ユニット新設 (ELB接地用)

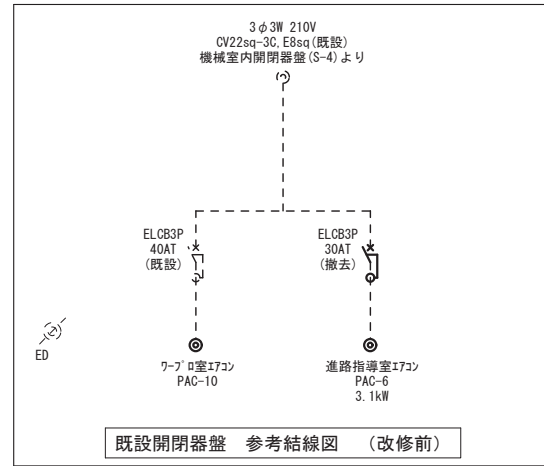
既設開閉器盤 参考結線図 (改修後)

電気設備工事特記事項

特記仕様

一般事項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち●印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版) (以下、「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版) (以下、「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (令和4年版) (以下、「標準図」という。)
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針 (令和4年版)」 (以下「監理指針」という。) を適用する。



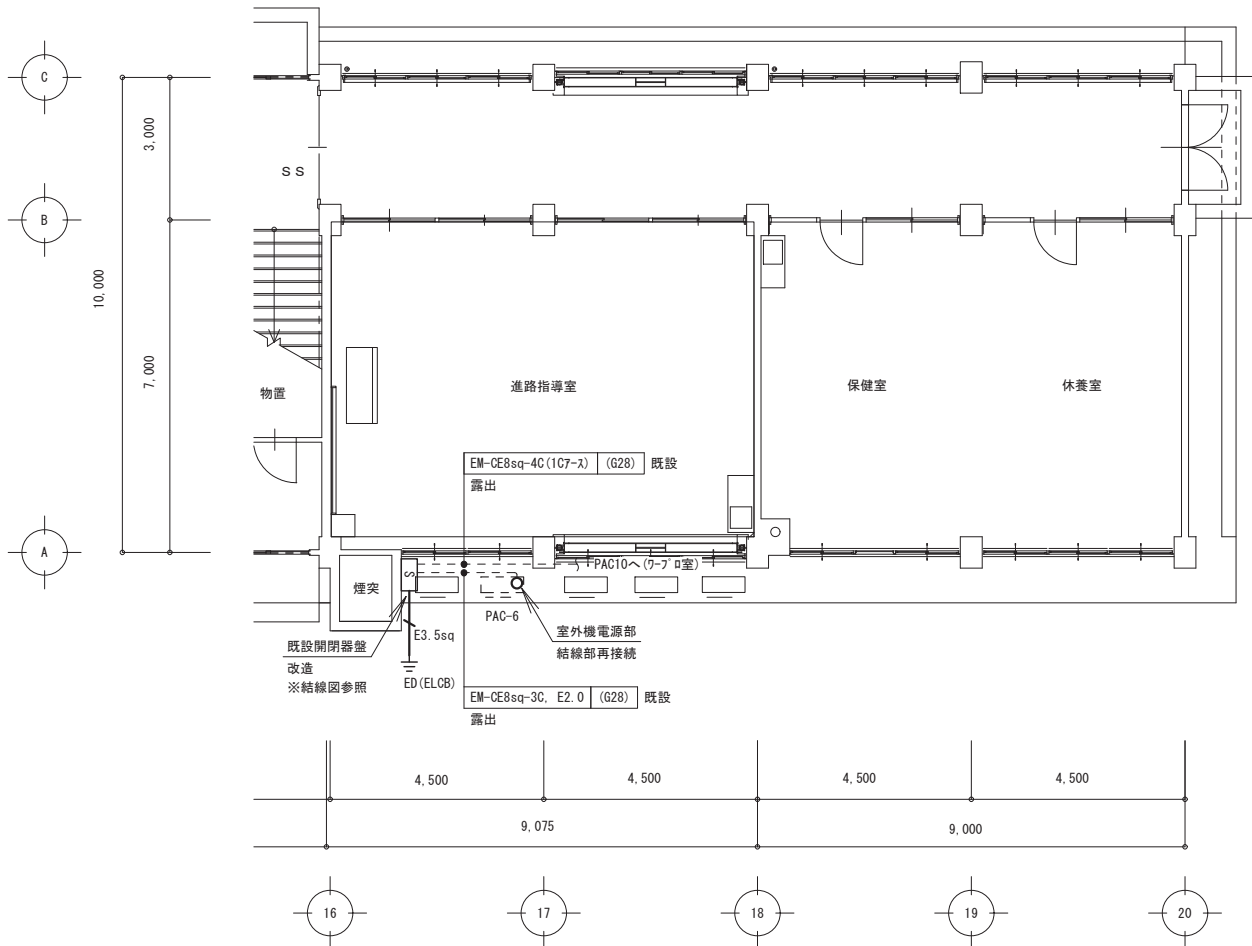
既設開閉器盤 参考結線図 (改修前)

凡例

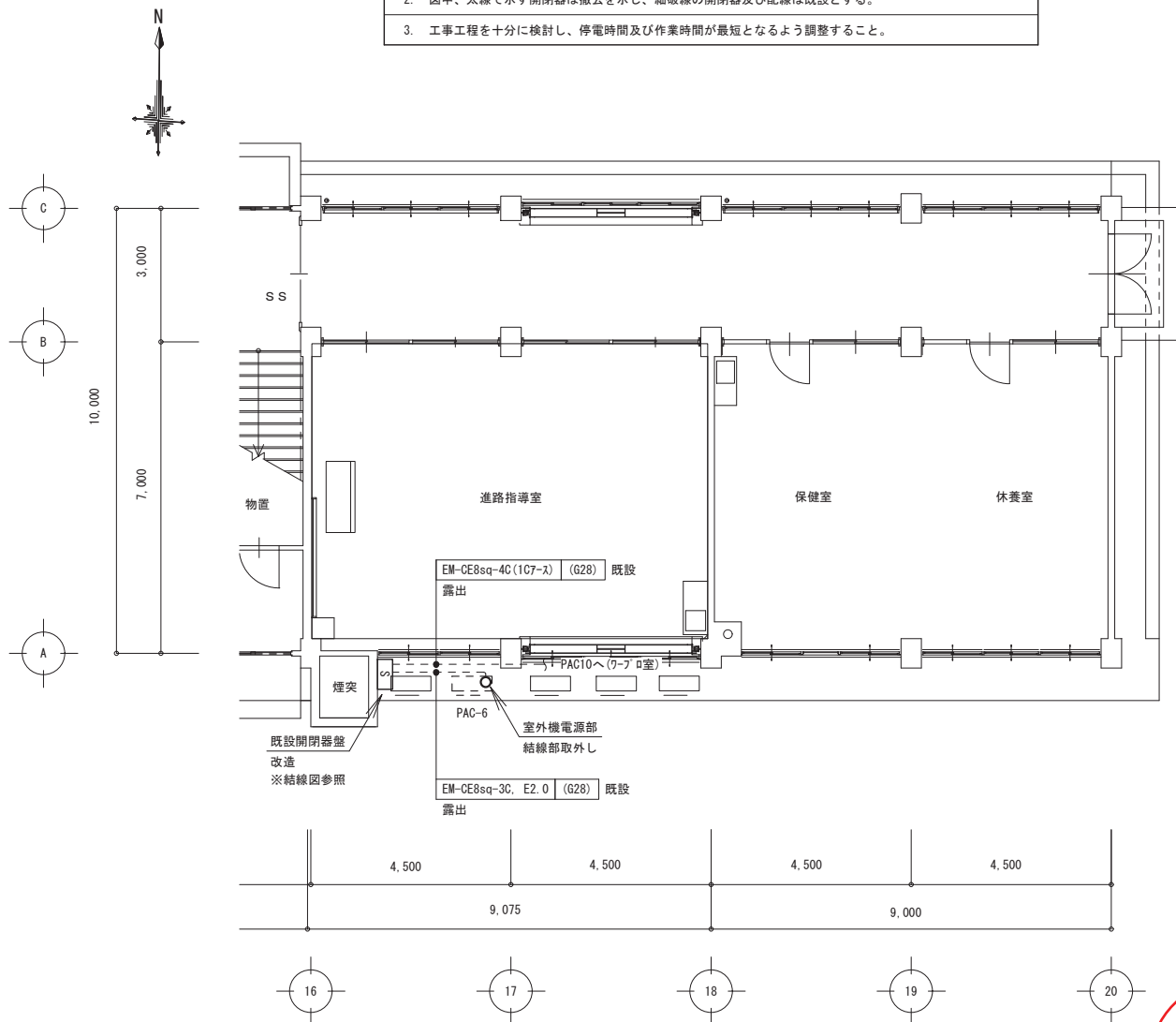
1. 既設の設備を十分調査の上、施工すること。
2. 図中、太線で示す開閉器及び配線は新設を示し、細破線の開閉器及び配線は既設とする。
3. 図中、接地母線の露出部分はHIVE管にて保護すること。
4. 工事工程を十分に検討し、停電時間及び作業時間が最短となるよう調整すること。

凡例

1. 既設の設備を十分調査の上、施工すること。
2. 図中、太線で示す開閉器は撤去を示し、細破線の開閉器及び配線は既設とする。
3. 工事工程を十分に検討し、停電時間及び作業時間が最短となるよう調整すること。



機器電源設備 管理教室棟 1階平面図 (改修後) S=1/100



機器電源設備 管理教室棟 1階平面図 (改修前) S=1/100

鳥取県
令和7年度
J2500104
西部環境建築局

一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
Mechanical/Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	角田	山下	山下

縮尺 1/100 (A2)
設計年月日 2025. 10

工事名称 県立米子南高等学校進路指導室エアコン更新工事
図面名称 機器電源設備 1階平面図・開閉器盤単線結線図 (改修後・改修前)

図面番号 E-01 / 01